

KSKQ

蓮の上の猫



暑中お見舞い申し上げます。

季節の中で、子どもの頃から夏が一番好きです。

私は、出会う人ごとに、何気に、好きな季節をたくさんの人に聞いてきましたが、約半数の方が、春や秋と答えられます。そんな方にも、「夏か冬かと言えば？」と無理に何うと、(私は、勝手に夏が好きな人が多いと決めてかかっていたましたが...)全体の7割以上の方が、冬と答えられます。また、食いが下って、「何故だ？」と聞くと、食べ物美味しい、おしゃれが出来る、お布団の中が幸せ..など、夏は、暑くても服を脱げないけど、冬は、着ればいいだけ。と多くの方が言われます。私は、着膨れるのが嫌いで、寒がりの薄着で、いつも学習力がないのか、風邪をひいてから、手袋やマフラーをしたり、厚着になります。泣きそうな顔で、毎日、自転車で通勤し、冬眠したいくらい春までサバイバルです。

頭の中の、夏のイメージは、熊本の実家の子どもの頃の古い日本家屋。

縁側から見える入道雲。川遊びから帰って、畳に寝転んで、扇風機に吹かれながら、猫とお昼寝。

目が覚めたら、おやつにスイカやトウモロコシを食べる。時々、姉とスイカを持って、屋根裏部屋の窓から、屋根に上がり、種を「ブブーッ！」と、どっちが遠くへ飛ばせるか競った。30年以上前の、大切な記憶は、昨日のことにようにキラキラと鮮やかです。皆様も、お身体を大切に、夏を満喫して下さいね。

NPO 法人ロータス 理事長 弘 瑛美子

行事報告

作業所のねこ&/うねこ展 5月7日(土)~12日(木) By. まあーちゃん

近鉄上本町にある「Gallery 光陽堂」で、6日間開催致しました。今回私は4度目の参加で、毎年楽しみにしているイベントです。1階では手作り手芸品の販売とねこ達のありのままの姿をとらえた写真パネルが飾られ、2階ではメンバーさんによる漫画や作業所のねこ達のイラストや詩が飾られました。手芸品では自分が作ったがま口財布や、羊毛フェルトのねこキーホルダーが売れると、とても嬉しかったです。多くの方々と交流が出来、私の友達も何人か遊びに来てくれ、ゆっくり話が出来たのでよかったです。とても有意義な時間のねこ展でした。



合同レク運動会 5月20日(金) By. しお&みっち



午前はスプーンリレーとパン食い競争をしました。私は参加せず、同じ作業所のメンバーさんを応援してたよ！スプーンリレーはボールを落としてしまったけど最後は上手にスプーンにボールを乗せてゴールしました。すごいね！！パン食い競争は2回も出場して頑張ったメンバーさんもいたよ！ヒモの位置が高くて苦戦していたら合同レク委員の人がパンをぶら下げているヒモを下げてくれていたよ。親切だ！と思ったけど、下げ過ぎて逆に取りづらそうにしていたよ。面白かったよ。私はみんなの応援を沢山して楽しかったです。 しお

午後はソフトバレーボール大会をしました。初めてお会いする人達とチームを組む緊張は大きかったですが、ミスをしてみんな励まし合いながら声をかけ合いながら交流を持てたのは良かったです。私のチームは何と優勝してしまいました！！ 良い汗を流せて楽しかったです。 みっち

滝谷菖蒲園 ナイトレク 6月17日(金) By. みっち

滝谷菖蒲園へ蛍を見に行きました。足元も見えづらい暗い空の下ピカピカと瞬く蛍の光が綺麗でした。私は蛍を見るのは初めてだったのですが、思っていたよりも小さな生き物でビックリしました。体調1cmもなさそうな蛍達がほんの一瞬、強い光を輝かせる様子は、ただ美しいだけでなく、命の力強さと、はかなさを感じさせてくれました。



合唱クラブ By. みっち

絃では、月に1度合唱クラブがあります。音楽に明るいスタッフさんがワンフレーズずつ丁寧に音階を教えてくださいます。発声の方法や楽曲の内容に合う情緒溢れる歌い方も教えてくれるので、毎月楽しく歌っています。童謡や合唱曲なども歌いますが、作詞作曲をされたオリジナル曲を歌わせてもらう事が多いです。絃には音楽の才能あふれる方が多いので、声でハモるだけにとどまらず、キーボードやウクレレ、ギター、ガラスフルートなど楽器とのハーモニーも作り出されています♪

バザー出店予定 是非、あそびに来てください！ お待ちしております♪

日にち	イベント名	場所	時間	出店内容	その他
8月25日 (木)	‘16夏の夕べ IN 安中小	安中小学校	17時 ~19時	射的 手芸品販売	
8月26日 (金)	ハ尾こころの ホスピタル夏祭り	ハ尾こころの ホスピタル北館	17時30分 ~20時	大判焼き、射的 手芸品販売	
9月11日 (日)	久宝寺寺内町 燈路まつり	顕証寺	14時30分 ~21時	大判焼き 手芸品販売	
9月11日 (日)	ハ尾 河内音頭まつり	久宝寺緑地 陸上競技場内	11時 ~20時	射的 手芸品販売	予定
11月3日 (祝木)	第21回東大阪 国際交流フェスタ	三ノ瀬公園 (布施)	10時 ~16時	大判焼き 手芸品販売	予定
11月6日 (日)	にこにこ祭り	ハ尾こころの ホスピタル北館		大判焼き、射的 手芸品販売	予定

スタッフ研修

発達障がいセミナー ～発達障がい児・者の理解と支援に必要な視点とは～

八尾市にある就労継続支援 A 型を運営されている、株式会社インクルージョンさん主催の研修会に参加させていただきました。プリズムホールの小ホールで開催され、沢山の方々が来場されていました。

第一部ではインクルージョン代表取締役社長、藤田直さんより「障がいを取り巻く地域資源の課題とインクルージョンの志について」と題したお話と、貼り絵アーティストとして活躍されている岡森陽子さんより「私の挑戦」と題しお話がありました。

藤田社長のお話では、社会資源を知る事と活用する事の大切さ、また、自らが社会資源でありたいと願われている、その志を聞かせて頂きました。社会資源を知らなかったゆえに介護疲れ、貧困に陥り生きていくことが困難になってしまった親子の動画も見せて頂きましたが、とても衝撃的でした。インクルージョンさんは「誰もが笑って暮らせる社会」を創造することを経営理念として掲げておられます。みんな一人一人が誰かの社会資源であり、そうありたいというメッセージと励ましを頂きました。

貼り絵アーティスト岡森陽子さんは 17 歳でバセドウ病（甲状腺機能亢進症）を発症、暑い、動悸がして脈が速い、イライラする、汗が止まらない、疲れやすい、いくら食べても痩せてしまう、等の症状があるようです。

3・11 東日本大震災を経験したことがきっかけで、自分に出来る事は何か考え「貼り絵」を始められました。とても柔らかい色使いの貼り絵で、ほっこり癒される作品です。

岡森さんは「陽矢（はれるや）」その個人の持つ良さ、強みが、他者によってほめたたえられる世の中になりますように…という理念を持ち、この活動をされています。貼り絵は違った色が混ざり合うのではなく、違った色がその色の個性を持ったままで重なり合い、一つの絵を作り出していきます。色と色が重なり合って彩（いろどり）を作り出す社会を作っていきたいと語って下さいました。同化することで共存しようとするのではなく、違いが彩となり良さを生み出す、その想いと岡森さんの生き方に感動しました。



貼り絵アーティスト岡森陽子さんの作品

第二部では、大阪人間科学大学医療心理学科専任講師、山崎康一郎先生より「発達障がい児・者の理解と支援に必要な視点とは」と題し、お話頂きました。学生時代から、ボランティアで発達障がいを持つ子どもと関わってこられ、その子ども達の世界観や魅力に惹かれたと言われていました。アナと雪の女王を例に用いた「ありのまま」の受容、というお話がありました。障がいを個人の個性として捉え、社会に適応しやすいところ、しにくいところを受け止める。自分のありのまが受け入れられる経験の積み重ねが、とても大切だと改めて感じました。「速くできる」「上手にできる」という価値観で自分も周りから評価されてきたこと、またいつの間にか自分もそのように評価していた事に気づかせて頂きました。「リフレーミング」視点を変える、物事を見る枠組みを変えるというお話がありましたが、自分の当たり前を離れて、他の見方はないか考えてみようと思いました。

(宮川 さやか)

《ご寄付・賛助会費のお願いとお礼》

機関誌 (Vol. 2) を 5 月に発行してから、沢山の方よりご寄付、賛助会費を頂きました。皆様の暖かいお気持ちを頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。メンバーさんの支援の為、必要な物や法人の活動の為に、大切に使用させて頂きます。法人が設立して 2 年が経ちました。地域の方に暖かく見守られながら、メンバーさんの夢や希望を実現していく場所を守り、さらなる事業を発展させていく為にも、まだまだ資金が不足しています。今後とも皆様の暖かい、ご支援とお力添えを頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

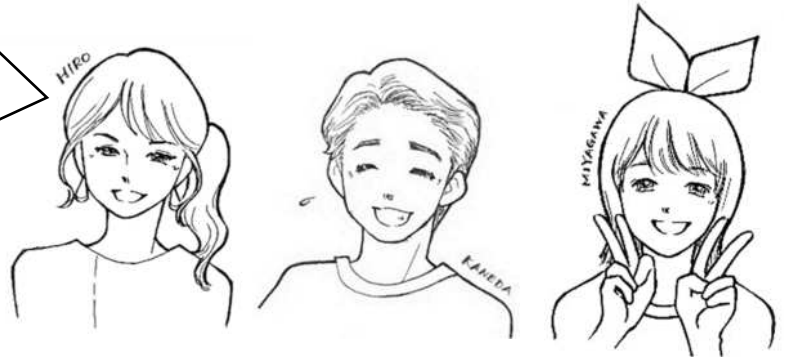
● ご寄付、賛助会費を頂い方のご紹介 (敬称略)

大本 佐智子、岡村 淑子、高木 忠和、高木 紀久代、竹中 哲也、田中 誠太、橋本 佳子、野々垣 美佐子、三谷 信代、宮田 宮子、山口 貞江、吉永 いち

座談会

～つむぎシンポジウムをスタッフが振り返る～

当日、雷雨の中ご来場頂きました方、本当にありがとうございました。日常の普段の紬の雰囲気伝えたくてスタッフ、メンバー、一緒に準備を進めて参りました。ご来場頂けなかった方にも、紙面から伝われば嬉しく思います。



宮川：では、座談会を始めます！

3人：わあ～ パチパチパチ

弘：前回メンバーさんの座談会（機関誌 vol. 2 に掲載ストレス解消法）がすごく評判が良くて色々な所から「面白い」という感想を頂きました。

宮川：あれは、すごい勉強になりました。

弘：10回以上読み直しましたね！あれは素晴らしい対談でしたね。で、今日の対談のテーマは！

兼田：**6月24日に開催した「第2回つむぎシンポジウム～なんと！2年経ちました」をスタッフが振り返る！です。**

弘：前日から雷雨の予報だったけど、でも朝晴れましたね！

兼田：お客様、紬のメンバーさんスタッフ含めて35名の方が来てくださいました。

弘：雷雨の予報の中、沢山の方が来てくださって本当にありがとうございました。

兼田：市長も来てくださってね。早く帰るっておっしゃってたのに、挨拶もしてくださって。紬開所前のエピソードも覚えてくださって、嬉しかったですね。

弘：司会もメンバーさんがやってくださって温かい雰囲気が始まりましたね。優しい声のFさんとええ声のHさん、いいコンビでしたね♪

兼田：そしてTさんのソロウクレレの演奏。

癒されましたね。「見上げてごらん夜の星を」

弘：「まだ上手に弾けませんが、生暖かい目で見てください」というコメント（笑）会場に来て緊張されているお客様もリラックス出来るようにというサービス精神に感動しました！

兼田：その後、活動報告。ハプニングもなく進められて良かったです。Eさんは上手に手芸品の宣伝もしていただきましたね。

宮川：メンバーさんの報告に会場から拍手が起こったりしてビックリしましたね。

弘：メンバーさんの素直さを感じましたね。こねくり回してないから心にスッと入ってきます。

兼田：文章だけでは伝わらないので、写真で様子が伝えられたのが良かったなあと思いました。

弘：ん～何だかんだ1年ありましたね。

弘：日頃の紬の発表が2部で、メンバーさんによるコントと合唱！

いや～でも皆さん役者ですね。あれは大阪人だからですか？何でコントができるんですか！？

紬の1日を7分位でまとめて、ギャグも言いながら…時々スベる！（笑）でもやり続ける！それでウケる（笑）紬に来ないと分からない日常の様子をコントで表現してくださって、スゴイことですよ。

宮川：その後は合唱！Eさんが高校生の頃に

作詞作曲された「向日葵」を歌いましたね。

弘：これは機関誌にも歌詞が載ってます！作詞されたEさんもガラスのフルートで演奏してくださいました。高校生の頃辛かった時期に作った歌で、この歌詞もすごく良いので是非読んでほしいですね。

兼田：練習している時に、その時合唱には参加されてなかったSさんが来てくれてアドバイスをくれてすごく良くなりました。

宮川：もう一曲「ケサラ」

弘：これが、アルト大変だったんですよ！

みんな上手いんですけど、みんな迷子になるんです（笑）

宮川：でも何かアルト楽しそうでしたよ。

弘：指揮のMさんも1週間前にやると決まって、最初は上手いかないところがあって苦労されていたけど、次の練習の時にバシッと出来るようになっていて、聞いたらお家で練習してきたって言うておられて。

宮川：楽器合わせるのって大変だけど、伴奏のギターとウクレレも息ぴったりでしたよね～。

弘 兼田：それはもうねえ～♪

3人：エヘヘヘ～（笑）

弘：本っ当にかっこ良かったです♪

宮川：アイコンタクトで！

弘、宮川：愛の力♥♥ 愛コンタクト♥♥

3人：ガハハハ～（笑）

弘：伴奏がピタッと合ったら歌う方も気持ちいいですよねー。

宮川：そして休憩を挟んでワークショップ。

「ストレス発散法」

弘：グループ毎に分かれて話し合ったストレス発散法を模造紙に書いていきましたね。

それを今、部屋中に貼っていますが、順番に見ていきましょ。5班に分かれてやって頂いた訳なんですけれども...

宮川さんどこの班ですか？

宮川：私5班です。「ヘッドスパ」という意見が出ましたよ。

兼田：顔もスッキリ、頭もスッキリ♪

宮川：人に何かしてもらえるのがいい。

大人になったらそういう機会もあんまりないので、誰かにケアしてもらって事で癒されてストレス発散になるって言われてました。

弘：ケアしてもらう時間... 大事ですね。

宮川：あと、もう一つ面白かったのが「お酒を飲んで嫌なことを忘れようとしたけど、忘れたのはお酒を飲んだ事だけだった」...という意見が。

兼田：それわかる気がする（笑）

やけ酒やったんですね。

弘：兼田さんは何班ですか？

兼田：うちは2班ですね。

弘：あー！Sさんが発表してくれた班！

兼田：発表をメンバーのSさんがしてくださって、班の司会進行もしてくださってたんですよ。

上手にみんなに話をふってくださって。

弘：Sさんは発達障害をお持ちの方で、予定の急な変更や新しい環境に順応が難しくコミュニケーションにも苦痛を感じる方でパニックになるという症状をお持ちなんです。で、班ごとに発表を誰がするか決める時に...

兼田さんがじゃんけんぽんをしていたの（笑）

こらあ——！！！！Sさん負けたらどないすん

ねん！と思っていたらSさん発表してて（笑）

でもね、Sさんの発表が本当に素晴らしくて。

本当に生き生きと会場を巻き込んで。発表の中で会場に質問されたんですよ。それでマイクが会場に回って行って、その発表が会場を巻き込んで

一体化されて。でね、発表が終わった後、彼女に「どうして発表したの？あの質問は何で出来たの？」て聞いたんですけど、Sさんはワークショ

ップって何だ？っていう事で、シンポジウムに向けてワークショップの本を読んだみたいです。

宮川：へえ——！



ねこの福ちゃん擬人化

弘：で、発表というのは一方通行なので、相手が聞いているかわからなくなって不安になることがあるんです。そういう時には質問をしないと書いてあったそうです。それを彼女は発表の時に実践してるんですよ。

発達障害の方が初めての環境の中で発表出来るそして会場巻き込んで盛り上げるという事が生き生きと出来るっていう事を目の当たりにしてすごい感動して。

Sさんは、保健所からの紹介なんですけど、保健所のスタッフにもその事を報告したらもうビックリしてて。「兼田さんもう何やらかして！！」って言ったんですけど(笑) 班ごとでのワークショップの時から彼女は結構リードしてまとめて進行もしていたから出来るっていう判断のもとにじゃんけんをしたみたいですね。決して無鉄砲にリスクをおかした訳ではなかったという事も言っておきたいです。

私なら守りに入って彼女に発表させなかったかもしれないけど、兼田さんは状況見て発表できるんじゃないか？っていう事でさせて、彼女もそれで自分自身に自身が持てた。

兼田：本当に生き生き、話してはったからね。

弘：感動する所が沢山あったんですけどあのシーンはちょっとすごかったですね。これが、本人が持つてる力なんだろうなという事を見せて頂きました。

兼田：弘さんの班は？

弘：私の班は、福祉の大先輩もおられたんですよ。ワークショップは、みんなが同じテーブルで個人として話せるっていうのが楽しいですね。1日のスタートどう始める？という話になって、1日快適に過ごすためにどうする？みたいな話になって朝ごはんをしっかり食べるとか、タバコで一服するとか。

兼田：服は前の日に用意するというのも、ありましたね。

弘：毎日、朝何着ようかなって悩むのがストレスなんです。今日は誰に会うとか、どこに行くとか、服間違えて変な格好で会議に行ったりとか、何かその日に相応しい格好を朝に選ぶっていうのがすごいストレスなんです。でも前の日に用意してるっていう方がいらっちゃって、それは朝の

時間、余裕が出来るかなあと。ラジオ体操をするというよという方もいらっしゃいました。

あと、冷たい水で顔を洗う。

福祉の大先輩の方がね、自分が言った事で

「あ〜あれ言わなきゃ良かった…」とか自分の発した言葉で落ち込んでそれがストレスになるっておっしゃってたんですよ。ストレスの原因は自分を責めているからなんですよ。

「あ〜言ってしまった…」じゃなくて

「まず自分を許すこと。」

が、ストレス解消じゃないのかと言われて。失敗したかもしれへんし、人傷つけたかもしれへんけど、だからといって自分をずっと責め続けても解決出来ない。

「ごめんなさい」ていうとか、フォローするとか、関係を修復する努力をするにも、やっぱり自分を責めると、なかなか能動的に動けないじゃないですか。そのためにも1回自分を許す。すごい深い言葉を頂いたなと思って。収穫を頂きました。

「自分を許すこと。」

…ちょっとトイレ行ってきていいですか？(笑)

弘：…はい。今、午後7時でみんな小腹空いたかな？と思ってボランティアさんから頂いた八尾の名産といえば！

3人：枝豆——！！

弘：…を茹でてきました♪2キロも頂いたので

宮川：2キロ——！！

弘：毎年ボランティアさんから頂いていて。みんなで食べようと茹でてきたのですが、その間、宮川さん何してたんですか？

宮川：何だったかなあ？？風呂場で…

扇風機を洗ってました(笑) 衝動にかられて…

兼田：扇風機もそうやけど、帰ってきた福ちゃん(しろねこ)の色がだんだんグレーになってきてて…

弘：枝豆美味しい♪

宮川：美味しい～

弘：猫も寄ってきました。あ、福ちゃん食べた。今日納豆食べてましたよ。

宮川：さて、それで最後にみんなで一緒に合唱

「ゆっくり歩こう」歌いましたね。

弘：うん。枝豆美味しいすぎる♥

兼田：枝豆の美味しさについて語りましょうか（笑）

宮川：茹でたてが美味しい！

弘：八尾のが美味しい！！

兼田：採れたてが美味しい！！

弘：新物—！

福祉業界の人って支援のために走り回ってる人ばかりだと思うんですけど、紬のシンポジウムに来ていただいて「ゆっくり歩こう」と一緒に歌って頂いて。これは宮川さんの作詞作曲ですよ！
…どんな曲やったっけ（笑）

宮川：♪～ゆっくり歩こう ゆっくり歩こう

この道をキミとゆっくり歩こう～

弘：ちょっとずつ進もうよっていう歌なんですよ。そういう心忘れたくないなって思っている事業やってると、どうしてもセカセカしてしまうんですけどね。こういう歌をみんなで歌えるのっていいなと思いますね。こういう空間を共有出来たのは嬉しかったですね。

兼田：そして、シンポジウムは無事に終わり、懇親会！

弘：今年は土曜昼食会で何度か作って美味しかったピザ！パスタにオードブルにワインでイタリアンでした♪

兼田：ピザも生地から作って。これもメンバーさんから頂いたパン焼き機で作りました！

弘：お好みの具を乗せて♪250度のオーブンで、時々ヒューズ飛びましたけど（笑）

兼田：冷静トマトソースのカッペリーネと、うなぎとトマトのペペロンチーノ、あとペンネを使ってかぼちゃのカルボナーラの三種のパスタ！

弘：あと、オードブルでは、カマンベールチーズのフライとブルーベリーソースかけ、白アスパラの生ハム巻き！

弘：ワインを飲みながら、色んな濃い話が出来て良い時間を過ごさせて頂きました。

兼田：クリニックの看護師さんと患者さんも懇親会に来てくださって、紬のメンバーさんが接待してくださってね。

宮川：前日、当日の料理の準備も、スタッフがバタバタして、いっぱいいっぱい状態で、メンバーさんが見えない所で掃除をしてくださったり、動いてくださって本当に助けられました。

弘：スタッフだけでは絶対出来ないことが、シンポジウムで色んな面が見れて。メンバーさんの方から動いてくださって、私の中ではありえない事が紬では起こるな…と思いました。でも、それでしんどくなる方もいらっしゃるってそこはスタッフの責任やし、後のフォローはしないとイケないと思うんですけども。でもやっぱり、お客様が紬を知って頂ける年に1回の事として団結して一丸となってこのイベントに取り組めたというのは有意義で、素晴らしいって言うてくださったお客様もいらっしゃるって。また反省点も踏まえて。

兼田、宮川：うん！また来年！

弘：やっぱりね、メンバーさんの力が意外な所で発揮される事があるので、私達が限界を設定するのは間違いかな…なんて思ったりするので、守りに入らないでメンバーさんと一緒にこんなイベントを企画していけたらと思うので、また来年も乞うご期待という事で！

兼田：猫達も待ってますので、またこれを読んで興味を持たれた方は是非来年いらしてください♪

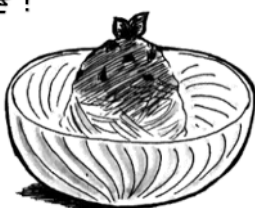
宮川：コンパニャン（ねこ）がお待ちしております。

兼田：コンパニャン4匹います♪接客できますんで！

3人：また来年も是非お待ちしております！！

これで座談会おしま—い！！

ありがとうございました♪



冷静トマトソースの
カッペリーネ



うなぎとフルーツトマトの
ペペロンチーノ



かぼちゃの
カルボナーラ

向日葵 —a sunflower—

作詞作曲 eimy

澄み渡る青い空
白い雲が流れてく
ため息ばかりの風に吹かれて 毎日が不安だらけ
愛しさや切なさ
きっと誰もが感じてる

そうこの地球にあるすべてのものさえ
信じることができなくて

他人を傷つけてしまっても
それでも逃げない自分がある
そんな自分になりたいから…

太陽に向かって咲く
ヒマワリのように
風に吹かれても
雨に打たれても
嘆かぬように
いつか枯れてしまうけど
青い空や白い雲が
見守っていてくれるから
強くなれるよ
真夏に咲く あのヒマワリになろう

涙とか苦しさは きっと誰もが知っている

そう この地球にあるすべてのものさえ

ガンバルことができなくて
夢を見失ってしまっても
それでも負けない自分がある
そんな自分になりたいから…

太陽に向かって咲く ヒマワリのように
風に吹かれても 雨に打たれても
グチャぬように
いつか枯れてしまうなら あたたかい光を強く
胸の中に抱きしめて
力の限り 精一杯 あのヒマワリになろう

太陽に向かって咲く ヒマワリのように
強くなりたくて 優しくなりたくて
元気になりたくて
いつか枯れてしまうけど 青い空や白い雲が
見守っていてくれるから だから笑顔で
真夏に咲く あのヒマワリになろう

きつとなれるよ 太陽に向かう
ヒマワリのように あのヒマワリのように…
そう信じて生きていこう



新商品の紹介

☆ブックカバー☆

革の布に寸法を測り、切断し、アイロンで折り目とタグを付け、ミシンでタグのフチと、しおり入れを縫い付け、革の上下を縫ってブックカバーを作っています。図面を取り、布を切る工程が好きで、切り終わった布地がまとまっているのを見ると達成感があります。ミシンは緊張します。真っすぐ縫うのが難しいです。ミシンも終わらせて完成させられた時は嬉しいです。

By. つーちゃん



☆羊毛フェルトブローチ☆



裏側は見えなくなるので、きれいな面に顔を作るようにしました。
残りのフェルトの色を見て、何が出来るか考え、
その結果猫以外のものが出来ました。By. sola

ブックカバー
¥600
羊毛フェルトブローチ
¥500

紬の手芸品は Ario ハ尾店内の【ええショップいろいろ】さんと
近鉄ハ尾駅近くのクレープ屋【昼カフェ】さんにてお買い求めいただけます！

ぽど

ある日の作業

紬で「ぽど」をお届けする作業をしています。「ぽど」の配達散歩のようで、とても気分転換になり楽しいです。「ぽど」をお届けしていると御近所の方から「有難う」とか「いつもお目を通しております」等温かいお声を頂く事もあり、とても励みになります。

余談になりますが、ぽど配達で一番怖いのは夏場の蜂さんでございます…(汗)
大群の蜂さんに追いかけれスタッフさんと逃げ回った苦い思い出もあります。 By. 信楽の狸

短形脚ゴム (介護用イスの足部品)

底辺のでっぱりを切り取る→側面のバリを取る→ネジ部分のゴムを取る→ナットを巻く。
この4工程を、流れ作業で行っています。第2の工程側面の曲線部分の細かいバリをハサミで切り取る。
その作業が好きだと教えてくれたのんちゃんにお話を聞きました。(のんちゃん→の 編集委員みっち→編)

編：のんちゃんは何故この作業が好きなのですか？

の：細かい作業には自分には向いているので、小さなバリをハサミでカットしていくのが好きです。

編：ハサミでのバリ取りの、どういう所が好きですか？

の：細かい作業は集中できるので、時間を忘れて作業できるのが良いです。

編：楽しさや達成感がありますか？

の：大きい切り取りやすいバリがあると、ちょっとテンションが上がります！

編：苦労している部分はありますか？

の：ずっとハサミを握っているので手が痛くなることですかね。

編：作業中の様子はどんな感じですか？

の：作業場の雰囲気さがすごく良く、みんなとコミュニケーションを取りながら作業出来るのが楽しいです。

編：最後に一言メッセージをお願いします。

の：楽しいの一言につきます！紬に来られて良かったです。

にこやかな笑顔で、のんちゃんは語ってくれました。

ある日のお昼ご飯

毎日、日替わりメニューで1食300円で、栄養バランスの良い昼食を作っています。

配膳された席に座ろうとすると、猫が先に着席していたりします♪



- ・鶏のつくねと
- チンゲン菜のあんかけ
- ・もやしのナムル
- ・エノキとワカメの味噌汁
- ・ご飯



- ・キノコと豆の
- チキンカレー
- ・フルーツヨーグルト



- ・鶏塩うどん
- ・切干大根の煮物



- ・和風あんかけ
- ハンバーグ
- ・キュウリの酢の物
- ・豆腐の味噌汁
- ・ご飯

しおちゃん日和



羊毛フェルトコレクション



羊毛フェルトは自由自在！妖怪シリーズ、招き猫、動物 色んなものを作っています！

編集後記

みっち：今回も新たな仲間が登場📖 紬の機関誌「蓮の上の猫」は紬の全員で作られています。突撃原稿依頼に快く協力してくださる紬の仲間達にあらためて「ありがとう」と伝えさせてください。Vol.3も良い仕上がりになりました。

みやーん：毎日暑いですが。でも、夏は楽しいイベントが沢山あってワクワクします！バザーシーズンに突入と共に機関誌 vol.3 も発行。みんなで作った機関誌。今回も是非、お楽しみください！

編集人：NPO法人ロータス編集部 Yojoyo~hands
住所：〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺3-1-22

TEL/FAX：072-992-0225

メールアドレス tsumugi1210@pa3.so-net.ne.jp

ホームページ：http://lotus.nyanta.jp/

賛助会費、ご寄付振込み先

お振込み先：ゆうちょ銀行

口座番号：00910-4-305976

口座店名：0九九店(099)

口座名：特定非営利活動法人ロータス

1991年9月3日 第三種郵便物承認 毎月 (1・2・3・4・5・6・7・8・の日) 発行
発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪府大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階 定価10円